

臨時レポート

トルコ中央銀行 予想を上回る利上げ

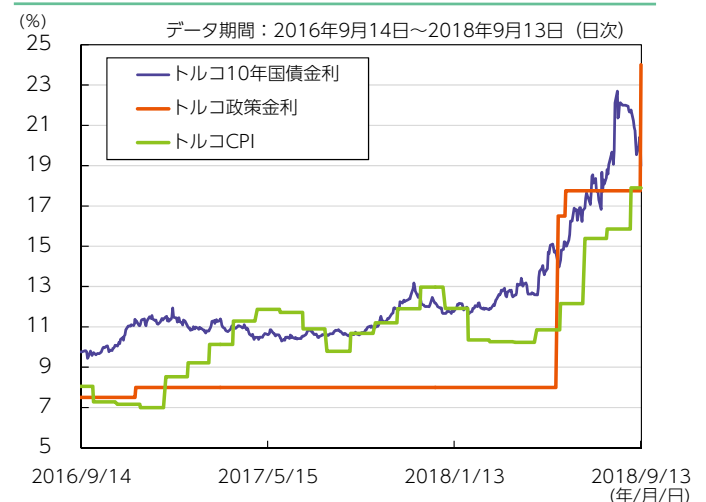
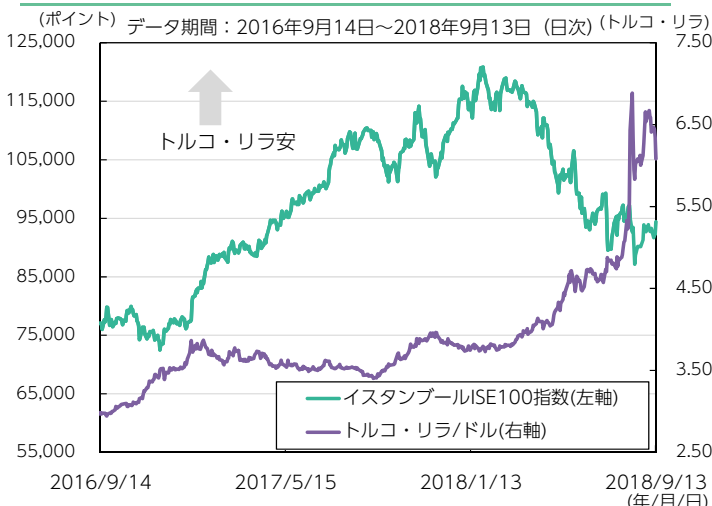
トルコ・リラは上昇、金利はひとまず低下も予断を許さず

- ✓ トルコ中央銀行は9月の金融政策決定会合で市場の予想を上回る6.25%利上げを行い、政策金利を24%とした。これを受けトルコ・リラは上昇、金利は低下
- ✓ 政治問題など抜本的な課題は解決しておらず、物価を安定させ、インフレ率を抑制させられなければ更なる利上げに迫られる可能性も

- トルコ中央銀行は13日の金融政策決定会合で、政策金利を6.25%引き上げ24%としました。市場では3%~4%程度の利上げが予想されていましたが、予想を上回る利上げ幅となりました。米国の利上げ方針継続により、8月以降トルコを始めとした新興国へと向かっていた資金の巻き戻しがトルコ・リラを押し下げ、影響は債券・株にも波及していました。トルコ中央銀行は通貨を防衛するため断続的に利上げを行い、6月会合では政策金利を17.75%まで上昇させましたが、7月の会合では政策金利を据え置きました。市場は利上げを見込んでいたため、利上げを嫌う大統領への配慮との憶測や中央銀行の独立性への懸念から、各資産は更に下落しました。10年国債の金利は史上最高水準の20%台まで上昇(価格は下落)し、通貨は1ドル=6.6リラ台の水準まで低下しました。3日に発表された8月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比17.9%上昇と、前月の15.9%上昇から更にインフレが加速し、15年ぶりの高水準となりました。生産者物価指数(PPI)上昇率も同32.1%上昇と、消費者物価の2倍近い伸びとなりました。
- トルコ中央銀行の市場予想を上回る利上げを好感し、13日のトルコ株式市場は前日比2.4%上昇し、債券市場では価格が上昇し、金利は20%台を割る水準まで低下しました。為替は利上げを好感し、対ドルで買いが進み1ドル=6.0トルコ・リラ近辺まで上昇しました。ひとまずは通貨や資産価格の下落を食い止める動きとなりましたが、急速なトルコ・リラ安による輸入物価の上昇などから、インフレ率は上昇を続けており、インフレ率が落ち着かなければ利上げを継続していく必要があるとの見方もあります。
- また、政治問題においても米国人牧師拘束問題では米国との交渉が進展しておらず、11月に中間選挙を控えるトランプ大統領も選挙前の解放を目指し、経済制裁などの強硬な姿勢を示すとの報道もあります。これまで金融政策への介入ともとれる不規則な発言を繰り返してきたエルドアン大統領の存在もリスクと見られています。13日の金融政策決定会合開催前にも利上げをけん制する発言を行っていました。通貨安がトルコ企業の3,300億ドル程度の外貨建て負債の返済負担を増加させるなど、国内経済への影響が出始めており、引き続き金融当局と政府の舵取りに世界の注目が集まるものと思われます。

図表1: 直近3年のトルコ株・通貨の動き

図表2: 国債金利・政策金利・CPI推移



出所) 図表1、図表2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>